

都道府県幸福度ランキングについて

1 ランキングの概要

- (一財) 日本総合研究所が、2012年から2年毎に公表 (H30.5公表の2018年版が最新)
- 国の統計資料等を基に、人々の幸福度と関連性が高いと判断した全70の指標を設定

- ①基本指標 : 5指標 (地域における経済活動や社会活動の基礎的状況を示す指標)
- ②分野別指標 : 50指標 (健康、文化、仕事、生活、教育の5分野×各10指標)
- ③追加指標 : 15指標 (時代の変化を捉えた指標を毎回5指標ずつ追加)

- 各指標を同一基準のものに共通化するため、指標毎に、平均値を基準とした各都道府県の乖離幅を数値化し、基本指標、分野別に合計して順位付け。総合順位は、全70指標の合計値で順位付けしたもの

2 2018年版での本県の状況

※本県の各指標の状況は別紙1、全国の総合順位は別紙2を参照

	総合	基本指標	分野別		
全国順位 (前回)	10位 (22位)	3位 (5位)	健康32位 (25位)	文化15位 (43位)	仕事21位 (30位)
			生活8位 (9位)	教育23位 (23位)	

(ポイント)

- ・ 「総合順位」は、これまで、31位→27位→22位→10位と着実に上昇
- ・ 「基本指標」は全国3位であり、指標別では、「選挙投票率 (国政選挙)」(1位)、「食料自給率」(3位)が全国トップクラス
- ・ 「生活分野」も8位と上位で、「一人暮らし高齢者率」(1位)、「持ち家比率」(3位)に加え、追加指標である「刑法犯認知件数」(6位)も併せ、安心して暮らせる県との評価
- ・ 大きく順位が上昇した「文化分野」では、「常設映画館数」(1位)、「語学教室にかける金額」(4位)が上位
- ・ 「仕事分野」も順位が上昇しており、「正規雇用者比率」は全国1位。一方で、「事業所新設率」は47位といった課題もあり
- ・ 指標別の本県の主な強みと弱みは以下のとおり

全国順位が上位の指標 (強み)		全国順位が下位の指標 (弱み)	
1位	選挙投票率 (国政選挙) [基本指標] 正規雇用者比率 [仕事] 一人暮らし高齢者率 [生活]	47位	留学生数 [文化] 事業所新設率 [仕事]
2位	健康診査受診率 [健康] 農業の付加価値創出額 [追加指標]	43位	平均歩数 [健康]
3位	食料自給率 [基本指標] 持ち家比率 [生活] など	42位	人口増加率 [基本指標]
		41位	外国人宿泊者数 [文化] 海外渡航者率 [文化] など

3 今後の対応

- 6月11日 (火) 開催の「知事と在京有識者との県政懇談会」において、ランキング結果を紹介。懇談会開催に係るプレスリリース時に、ランキング結果概要も添付し、情報提供

以上